

鍛冶ケ谷市民の森オープン

3月29日(土)、鍛冶ケ谷市民の森開園式典が行われました。

鍛冶ケ谷市民の森は鍛冶ケ谷二丁目に広がる緑地で、広さは2.9ha。

敷地内には鍛冶ケ谷式横穴古墳などの遺跡があり、栄区内では5番目の市民の森となります。

鍛冶ケ谷市民の森は4月に一般公開されます。



●防災講演会開催(家庭防災の会)

2月9日(日)、中野地域ケアプラザで本郷第三地区家庭防災の会主催の防災講演会を開催しました。

独立行政法人産業技術総合研究所の堀川晴央主任研究員を講師にお招きして、『活断層と地震の科学』と題してお話いただきました。前日の大雪の跡が残る足元の悪い中にもかかわらず、100名を超える参加者がありました。

地震の発生メカニズムなど難しい内容を、ユーモアを交えた軽妙な語り口で解説いただいたほか、三浦半島の断層群についても触れながら、横浜市ホームページの充実した災害情報の確認と、地震の「不意打ち」に備えることの重要性を強調されていました。

また講演中や講演後にも活発な質疑応答が行われ、

参加の皆さんの関心の高さがうかがわれ、有意義なひとときとなりました。



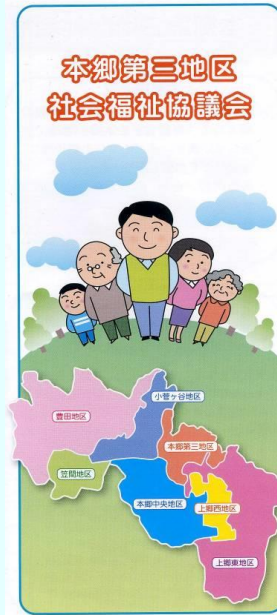
地区社協リーフレット発行

地域の皆さんに「地区社会福祉協議会」を知っていただくためのツールとするため、『地区社協リーフレット』を発行しました。

リーフレットはA4三つ折で、片面は全地区共通の内容、片面は本郷第三地区事業の紹介をするものとなっています。

リーフレットは区社会福祉協議会(栄区役所向かい)、中野地域ケアプラザにあります。

必要な方は、各受付にお申し出ください。



地区社協総会を開催します

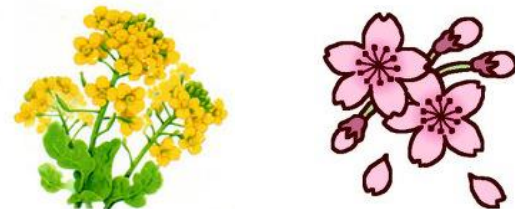
平成26年度本郷第三地区社会福祉協議会総会を開催します。

日時：4月26日(土)午後1時~2時

場所：本郷小学校コミュニティハウス

議題：平成25年度事業報告、決算報告

平成26年度事業計画、予算



編集委員：水越春彦 本間和男 片山栄一 杉本須美子 佐藤喜久子 服部泰子 軽野幸男

協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ

連絡先：中野地域ケアプラザ (担当：富永 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

本三みらい

発行者 村田可代子
◇本郷第三地区
社会福祉協議会
◇本郷第三地区
支えあいネットワーク

支えあいネットワーク全体会が開かれました

3月1日(土)午後1時半から中野地域ケアプラザにおいて、関係者80余名が参加して、「25年度支えあいネットワーク全体会」が開かれました。「支えあいネットワーク」とは、地域で福祉保健活動をしている団体や個人が連携して支えあいの地域づくりを行っている組織です。

村田支えあいネットワーク代表、保坂連合町内会会長、後藤福祉保健センター長、田中区社協事務局長のあいさつの後、分科会の5代表が今年度の活動を報告しました。



①訪問活動分科会

「訪問カード」を作成し使用開始しました。民生児童委員などがお留守の高齢者宅に「伺いました」というメッセージを残す目的で使用しています。他地区活動の視察として、11月に湘南八景自治会を訪問し、「お助けマン」による見守り・支援活動や、気軽に立ち寄り交流できる場所「ほっこり」の活動を視察しました。

②災害時分科会

各町内会、自治会における災害時要援護者支援の取組状況を調べました。また、8月に開催した「自助に関する講座」では、住まいの耐震補強や家具の転倒防止が必要であること、災害時のための十分な備蓄が必要であることなどを学びました。

③広報分科会

「本三みらい」を年4回発行、そのうち1回は全戸配付しました。

2月に地区社協リーフレットを、3月には地区社協紹介ツールとしてパワーポイントを作成しました。

④ボランティア分科会

6月に研修会「発達障がいに関する出前講座」を開催し支援が必要な子どもたちについて考えるきっかけを作りました。12月にはボランティア交流会を開催し、障害者後見的支援制度について学び、また各ボランティア団体の事業報告及び交流を行いました。

⑤子育て関連分科会

地域の行事などを掲載した「こどもカレンダー」を年3回発行し各小学校に配付しました。

12月に「みんなでチャレンジ! Let's スポーツ!」イベントを開催し子どもたちに喜ばれました。



全体会では分科会ごとに活動報告がありましたが、活動を地域に浸透させていくためには、いくつかの分科会が連携して活動に取り組んだほうが良いのではないかという意見がありました。

最後に、澤出中野地域ケアプラザ所長と伊達連合町内会副会長の講評、長瀬支えあいネットワーク副代表の閉会の言葉で2時間余の全体会が終了しました。

各町内会、自治会でいろいろな行事が催されました

●若竹山手町会「バスハイク」

11月10日(日)、総勢45名の参加者で恒例の親睦バス旅行を実施しました。

今回は東京都内のNHK放送博物館、浅草散策、浅草名物天ぷらの昼食、相田みつを美術館、NHKあまちゃん効果の岩手銀河プラザに立ち寄りしました。天気予報では午後から雨とのことでしたが、参加者の熱気に雨も吹き飛ばされて午後は晴れ間もみられ、楽しい一日を過ごすことができました。



●港南台プリンスハイツ自治会「防災訓練」

12月1日(日)、蛇名公園、プリンス会館で防災訓練を実施しました。最初に会館和室を使って煙体験を実施し、その後公園で消火訓練、救護訓練、AED使用訓練を行いました。

物資班の方たちはかまどでご飯と豚汁を作ってくれました。ご飯も豚汁もとてもおいしかったです。

天候に恵まれ、全員の協力により無事に防災訓練を終えることができました。



●ローレルスクエア港南台自治会「10周年記念植樹」

2月16日(日)、100年に一度の大雪の後、自治会10周年記念植樹が行われました。当日は、鍛冶ヶ谷北谷公園にかなりの雪が残っていましたが、晴天に恵まれ、予定どおり記念植樹を行うことができました。

桜の種類は「陽光桜(ヨウコウザクラ)」で、一般的な桜より早く咲き、樹勢も強い品種だそうです。

村田会長や元会長、現役員や元役員、班長などが集まり、記念樹に土を盛ったり、清酒でお浄めを行ったりして、自治会の発展とともに桜の木が大きく成長することを祈念しました。



●若竹町内会「避難訓練」

11月23日(土)、子ノ神日枝神社を会場に避難訓練を実施しました。

訓練には70余名が参加し、炊き出しや車椅子体験、簡易トイレ体験など災害への備えを強め、併せて会員の親睦を深めました。



●港南台プリンスハイツ自治会「秋のハイキング」

11月24日(日)、自治会主催のハイキングを開催しました。

天候に恵まれ、早朝の蛇名公園に大人41名、子ども9名、合計50名が集まりました。

横浜栄高校からいっしんどう広場を経由し、横浜自然観察の森の自然観察センターまでのコースを歩きました。足場の悪い所もほとんどなく、全員が楽しく無事に歩きとおすことができました。



●鍛冶ヶ谷町内会「防災研修 ～海洋研究開発機構って何をしているところ?～」

2月18日(火)、町内会防災研修で横須賀市夏島にある海洋研究開発機構を見学しました。

海底土7500mを掘削できる世界一の能力を持つ探査船“ちきゅう”。現在は2000mまで掘り地質や岩盤から地球の成り立ちを調査しています。また、掘った穴に地震計やひずみ計を置いて、地震がリアルタイムで届く仕組みを作りました。

“しんかい6500”は、水深6500mに潜水する調査船。実物大のモデルに入って研究者の気分を味わいました。海底プレートの裂け目の発見、深海生物や資源レアメタルの研究などで幅広く世界中の深海で活躍していることを学びました。



活動団体紹介 No.10

民生委員児童委員協議会

本郷第三地区では、現在、民生委員児童委員17名、主任児童委員2名が活動しています。

民生委員児童委員の活動内容としては、心配ごとの相談や福祉情報の提供を行うほか、区役所等とのパイプ役、自治会町内会等と連携した支援体制づくりがあります。

また、主任児童委員は学校や児童相談所等関係機関との連絡・調整を行っています。

少し前のことですが、ひとり暮らしのお宅の電気が数日ついていないと近所の方から連絡がありました。急ぎかけつけ、声をかけても応答がなかったため、中に入ってみたところ倒れているのを発見し、救急車を呼んで孤立死を防いだ事例もあります。

このように、普段から見守りを行い、子どもや高齢者や障がいのある方など、誰もが安心して暮らせる地域福祉の増進に努めています。

